

学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成25年12月24日(火) 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

発 表 事 項

1. 平成25年度補正予算(第1号)について
2. 山形大学優秀教育者賞受賞者が決定しました
3. ナイスステップな研究者に本学教員が選ばれました
4. 「やまがた食育カレンダー2014」が完成しました
5. 参加者募集！浦戸諸島桂島観光再生ツアー

お 知 ら せ

1. 理系ライフをのぞいてみよう！サイエンスカフェ in 山形大学の開催

(参 考)

- 次回の学長定例記者会見(予定)

日 時：平成26年1月9日(木)11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

平成25年12月24日
山形大学

平成25年度補正予算（第1号）について

事業名

・設備関係

- ① 次世代型重粒子線装置の開発に向けた革新的技術開発 ※
- ② 核子スピン構造解析システム
- ③ 薬剤師の積極的活用を可能とする薬物治療支援システム

予算額計 1, 258百万円

・施設整備

- ① 【小白川団地】 総合研究棟改修（文学系）
- ② 【小白川団地】 屋内運動場改修
- ③ 【松波団地】 附属小学校校舎改修
- ④ 【飯田団地】 医学部学生実習講義棟改修

※「次世代型重粒子線がん治療装置の開発に向けた革新的技術開発」

本研究開発は現在進められている平成24年度補正予算事業「次世代型重粒子線装置の開発に向けた革新的技術開発」「広域医療ネットワークを活用した患者情報管理の基盤技術開発」をさらに推進するものです。

「次世代型重粒子線装置の開発に向けた革新的技術開発」については、山形大学重粒子線治療装置の全体案に対し、H24年度補正では着手していない装置・機能について研究開発を行います。

「広域医療ネットワークを活用した患者情報管理の基盤技術開発」については、県外も視野に入れた医療情報ネットワーク基盤の強化と、新発想による放射線治療計画システムや放射線治療に特化したデータベースの開発を行います。

お問い合わせ

（平成25年度補正予算（第1号）について）

総務部広報室

電話：023-628-4008

（次世代型重粒子線がん治療装置の開発に向けた革新的技術開発について）

重粒子線がん治療施設設置準備室課長 河野

電話：023-628-5404

平成25年12月24日
山形大学

山形大学優秀教育者賞受賞者が決定しました

平成25年度の山形大学優秀教育者賞受賞者25名が決定し、12月25日（水）に授賞式を行います。

◆山形大学優秀教育者賞とは

この制度は、本学で教育や学生支援に貢献した教員を表彰し、教育活動の活性化と教員の意欲向上を図ることを目的として、平成24年度から始めました。

「山形大学優秀教育者賞実施規程」に基づき、部局長の推薦又は自薦で候補者を推薦し、役員会の議を経て学長が被表彰者を決定します。授業評価、方法改善、社会・国際連携、普及・広報活動、学生支援について定めた指標を表彰の基準としています。

表彰は、年1回とし、学長から表彰状及び賞金が授与されます。

◆平成25年度受賞者

部 局	受賞者数	昨年度受賞者数
人文学部	3名	3名
地域教育文化学部	2名	2名
理学部	3名	2名
医学部	8名	8名
工学部	6名	5名
農学部	2名	3名
基盤教育院	1名	1名
合 計	25名	24名

◆山形大学優秀教育者授賞式

日 時： 平成25年12月25日（水） 15時30分から

会 場： 山形大学事務局第一会議室（3階）

列席者： 役員、学部長（人文、地域教育文化、理、工学部）、附属病院長、
基盤教育院長、小白川キャンパス事務部長

（お問合せ先）

小白川キャンパス事務部教務課
電話：023-628-4114

山形大学優秀教育者賞実施規程

(平成 24 年 6 月 13 日)

(趣旨)

第 1 条 この規程は、山形大学優秀教育者賞(以下「優秀教育者賞」という。)について必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第 2 条 優秀教育者賞は、山形大学(以下「本学」という。)において、教育や学生支援に貢献した教員を表彰することにより、本学の教育活動の活性化及び教員の意欲向上を図ることを目的とする。

(定義)

第 3 条 この規程において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

(1) 部局 各学部(地域教育文化学部にあつては教育実践研究科を、医学部にあつては医学系研究科及び医学部附属病院を、工学部にあつては理工学研究科を含む。)、基盤教育院及び事務局(男女共同参画推進室、東北創生研究所、小白川キャンパス事務部及び保健管理センターを含む。)をいう。

(2) 部局長 前号に定める部局の長(事務局にあつては教育・学生支援関係業務を担当する副学長)をいう。

(対象者)

第 4 条 優秀教育者賞の被表彰者は、表彰される年度において、本学の常勤の教員として在職している者とする。

(表彰の基準)

第 5 条 表彰の基準は、別に定める優秀教育者の指標によるものとする。

(候補者の推薦)

第 6 条 表彰候補者の推薦は、部局長の推薦又は自薦によるものとし、優秀教育者推薦書(別記様式 1 又は別記様式 2)を学長に提出するものとする。

2 部局長は、前項に規定する推薦を行うに当たり、必要に応じ、学内外関係者の意見を聴くことができるものとする。

(表彰の決定)

第 7 条 学長は、前条の規定による推薦に基づき、役員会の議を経て、被表彰者を決定する。

(表彰)

第 8 条 表彰は年 1 回とし、学長が表彰状及び賞金を授与することにより行う。

2 前項の表彰状の様式は、当該表彰の内容に応じてその都度定める。

3 表彰は、被表彰者が決定された後、速やかに行うものとする。

(事務)

第 9 条 表彰に関する事務は、小白川キャンパス事務部において処理する。

(その他)

第 10 条 この規程に定めるもののほか、優秀教育者賞の実施に関し必要な事項は、学長が別に定める。

附 則

この規程は、平成 24 年 6 月 13 日から施行する。

山形大学優秀教育者賞(授業評価、方法改善、企画活動、社会・国際連携、普及・広報活動、学生支援)の指標

区 分	評 価 項 目 等
I-1 授業評価	
1-1 学生目線	
1-1-1 授業アンケート	<ul style="list-style-type: none"> 学生による授業改善アンケートの評価の値(総合的)の〇年間の平均値を算出し、それが〇〇以上であれば、学生からの評価が高い授業 授業改善アンケートの結果、歴年の講義内容の改善度(アンケートの変化量)
1-1-2 満足度	<ul style="list-style-type: none"> 自分が受けてもっともためになった授業 受けていてもっとも楽しかった授業 学問への関心を最もそられた授業 単位取得のために最も多くの(有意義な)努力を求められた授業 自分の生き方や考え方に対して、強い影響力を与えてくれた授業 教員の熱意を最も感じた授業
1-1-3 推薦	<ul style="list-style-type: none"> 後輩始め他の学生にすすめたい授業
1-2 教職員目線	<ul style="list-style-type: none"> 互選アンケートにより、プロの目から評価 自薦により、外から見えにくい教育への寄与を顕彰 新しい、あるいは困難な教育的取組に挑戦したこと
1-3 卒業生目線	<ul style="list-style-type: none"> 卒業生からの教育内容に関する評価
1-4 学外目線	<ul style="list-style-type: none"> 学外(社会)からの教育内容に関する評価
1-5 客観的評価	<ul style="list-style-type: none"> 学生の学習成果の客観的評価 学会における学生の評価 高度な専門職に優れた学生を輩出 高い出席率(課題提出率・単位取得率)の維持
I-2 方法改善	
2-1 教室内授業	<ul style="list-style-type: none"> よく工夫された授業 教育の工夫、教育方法の革新 講義における学生とのコミュニケーション
2-2 テキスト	<ul style="list-style-type: none"> 教科書や講義資料の作成、他大学に採用される教材の作成 学外(社会的)から評価される教材の作成、電子教材など先進的な教材の作成 先進的な教材のための基盤技術、教材を作成する際の指針の作成
2-3 連携	<ul style="list-style-type: none"> 複数の講義科目間での連携(学期内・学期間) 科目内での効率化のための企画・情報基盤の整備
I-3 企画活動	<ul style="list-style-type: none"> 学科独自の実習、デザイン授業など、学生アンケートで評価されにくい授業への寄与を評価 教員間の教育に関する情報交換促進、若手(新任)教員などへの教育指導 教育項目基準など統一的な教育マニュアルの作成 多様性を維持するための企画 模範的講義の実施やFD活動への寄与 教育効率化のための企画
I-4 社会・国際連携	<ul style="list-style-type: none"> 留学支援、留学生教育 日本語教育及び外国語教育に関するFD活動、留学指導、外国人留学生の指導 キャリア教育、倫理教育、出前授業など、学生や学科では評価されにくい授業への寄与を評価、顕彰 地域との連携教育
I-5 普及・広報活動	<ul style="list-style-type: none"> 授業などのカリキュラムには含まれないが、学生の教育への貢献が大であると評価される教員を表彰 例えば5年以上の期間、継続している教育、啓蒙事業を行っている教員を表彰 自分の講義内容についての普及活動(論文なども含む) 山形大学の他教員の講義内容についての普及活動、
II 学生支援	<ul style="list-style-type: none"> 生活・進路支援、課外活動指導 フィールドワーク・課外活動における学生の指導 身体に障がいのある学生に対する支援 その他



平成 25 年度 山形大学優秀教育者賞授賞式

次 第

- 一、開式のことば
- 一、表賞状・賞金贈呈
- 一、学長あいさつ
- 一、受賞者代表あいさつ
- 一、閉式のことば

日 時： 平成25年12月25日(水) 15時30分

会 場： 山形大学事務局第一会議室(3階)

平成25年12月24日
山形大学

ナイスステップな研究者に本学教員が選ばれました

2005年から、科学技術・学術政策研究所で選定している、科学技術の振興・普及において顕著な貢献をした研究者である「ナイスステップな研究者」に、この度、本学大学院理工学研究科の古川 英光教授が選ばれました。

◆ナイスステップな研究者とは

「ナイスステップな研究者」という名称は、すばらしいという意味の「ナイス」と、飛躍を意味する「ステップ」を組み合わせ、科学技術・学術政策研究所の略称「NISTEP（ナイスステップ）」にからめたもの。科学技術に関する顕著な業績を上げた方々から、特に科学技術政策上で注目すべき成果を収めた方々に対して、当該研究所が選定を行うもの。

9組10名が、この度、科学技術への顕著な貢献2013（ナイスステップな研究者）に選ばれました。

◆受賞内容について

産学連携で世界最先端のゲル材3Dプリンターの開発

- ・東京の精密加工会社と共同で、液体材料を光で固めて造形するバスタブ型の3Dゲルプリンター（ゲル造形技術実証装置）を開発。ゲル材3Dプリンターは、医療分野はもとより、将来、美容・食品分野などへの応用も期待されています。（図1）
- ・軟骨などの再生医療や人工血管、脳動脈瘤手術の検証モデルなど、医療分野におけるゲル素材の可能性を追求し、機能性ソフトマテリアルとして期待される高強度ゲルの開発などで実績をあげ、ゲル素材を普及させる手段として、ゲルの製造及び評価装置の必要性を感じ、これらの開発に貢献。
- ・ゲル専用のオリジナル工学解析装置（走査型顕微光散乱、Scanning Microscopic Light Scattering:SMILS）を開発。さらに、ゲルの内部構造を3Dスキャンする装置のプロトタイプ開発。
- ・サンアロー株式会社と連携し、ゲル製造装置の開発を行い、ゲル前駆体を粉末化した後、光ファイバにより導光した紫外線（UV）レーザーにて局所的にUV架橋することにより、金型不要で高強度ゲルを自由な形状に製作する新たな技術の開発に成功（図2）。

※現在、このゲル造形技術実証装置（3Dゲルプリンター、Easy Realizer for Soft and Wet Industrial Materials:SWIM-ER）を活用した、手術前検証用臓器モデル、研究用人工血管、細胞培養用足場の商品化が計画されています。



図2：3Dゲルプリンターの試作機。3D-CADで描画した3Dデジタルデータから、描画したデータどおりの高強度ゲルを3D自由造形できる

図1：3Dゲルプリンターから広がる未来のものづくり

(お問合せ先)

工学部広報室

電話：0238-26-3419

平成25年12月24日
山形大学

「やまがた食育カレンダー2014」が完成しました！

全頁カラーの食育カレンダーは、「家庭や学校で子どもと食べ物について話したり、郷土料理を味わうきっかけになれば」との願いから、栄養士や栄養教諭、家庭科教員を目指す地域教育文化学部食環境デザインコースの学生が中心となり、心を込めて作成しました。

大好評につき、3年目となる2014年版は、さらにバージョンアップし、見開き上部の料理も全てリニューアル。さらに、各料理のアレンジ例等について、栄養士の卵である学生からのアドバイス付き。毎日の話題もできる限り新しい内容に改訂しました。

1. 本カレンダーの特色

- (1)見開き上部:その月にちなんだ料理を学生が考案。実際に調理し、画像と共に作り方を紹介。
- (2)見開き下部:各日の欄には、食にちなんだ記念日、郷土の食材の紹介など、毎日異なる話題を掲載。
- (3)末尾:詳しく知りたい方のために、記念日の由来や郷土食材の解説を掲載。

2. 本カレンダーにより期待される効果

家庭や学校、保育園・幼稚園等における食育の教材として様々な活用ができます。

- ①見開き下部の毎日の話題をきっかけに、巻末の詳しい解説も活用しながら、子どもの興味に応じて幅広い学習が継続的にできます。
- ②山形で味わえる毎月の旬の食材や郷土料理も紹介しており、子どもだけでなく、保護者、特に若い世代の保護者にも山形の郷土食に興味を持って頂き、地産地消にも貢献できるのではないかと考えています。

3. 発行に至るまでの経緯

2011年、本コース3年生を対象とする授業「栄養教育実習Ⅱ」において、担当教員である大森桂准教授が、カレンダーの製作を提案。学生が班ごとに担当する月を決め、毎日の食に関する話題として掲載する内容を調査。毎月の料理の考案・調理も、学生が班ごとに担当。編集作業は、本学の男女共同参画推進事業の一つである、研究継続支援員制度を活用。料理の撮影およびカレンダー全体の監修は大森准教授が担当。毎年、県内に限らず、北海道から九州まで、個人、各種学校、企業、行政等、多数の方から入手希望のお便りを頂いています。

4. 配布について

今回は大幅に増刷し、1,000部を用意。ご希望の方は、返信用封筒(角形2号)に送付先を記入し、送料(1部であれば240円)分の切手を同封の上、本学大森研究室までご郵送下さい。詳しい入手方法は、学部HPに掲載。

(お問合せ先)
地域教育文化学部
大森 桂023-628-4353
または事務室023-628-4304

平成25年12月24日
山形大学

山形大学学生の継続的被災地復興支援活動

参加者募集！ 浦戸諸島桂島観光再生ツアー ～ゆるりと歩くと笑顔もほろり～ふらりと桂島ツアー

◆『浦戸諸島桂島観光再生ツアー』について

◇山形大学学生有志が、東日本大震災の被災地塩釜市浦戸桂島の復興支援のため、一昨年度、昨年度に引き続き『浦戸諸島桂島観光再生ツアー』を実施します。

日本三景松島の唯一の有人島である浦戸四島の一つ桂島で、山形大学学生が主体となり、東日本大震災から力強く復興を始めている桂島のみなさんとお客様の心と心を繋ぎ、参加する全ての方々の「笑顔」を作ることを目指しています。

島特産の牡蠣を自分で剥いて食べたり、島をクルーズしたり、森の中を散策したり、松島の絶景を海側から堪能したりと、普段の生活の中ではできない体験を満喫できます。コンビニも、信号もない、心安らぐ海と緑の自然の中で、取れたてのブランド牡蠣、海苔を、心ゆくまでご堪能ください。

◇日程【第一回】平成26年2月1日（土）～2日（日）

【第二回】平成26年3月1日（土）～2日（日）

参加費：大人12,800円（小人9,800円）

行程・内容等：詳細は別添資料参照。



◇このツアーは、基盤教育科目「現代社会を生き抜くためのプレゼンテーション学」「実践的コミュニケーション学」の受講学生のうち17名の学生が企画・運営を担当し、その他、東北芸術工科大学、東北文教大学含め約50名の学生が運営協力・広報等のマーケティングを担当しています。

◇山形大学有志災害ボランティアチーム「チーム山大」は、2011年6月18日から継続して浦戸諸島でボランティアを実施してきました。海岸の瓦礫撤去や個人宅の復旧等を通して生まれた島のみなさんとの深い繋がりから、「浦戸諸島観光再生プロジェクト」が生まれ、2011年度4回、2012年度4回ツアーを実施しました。これまでの経験を踏まえ、さらに魅力を加えて今年度ツアーを実施いたします。

◆山形大学有志災害ボランティアチーム「チーム山大」について

2011年4月29日に発足し、2011年度～2013年度山形大学基盤教育科目「実践的キャリア教育学」「現代社会を生き抜くためのプレゼンテーション学」「実践的コミュニケーション学」の受講生を中心に、受講生以外の学生、山形のNPO等（NPO法人ディーコレクティブ、NPOハーバランス、NPO法人山形自立支援創造事業舎みちのく屋台こんにやく道場、大曾根餅つき保存会、NPO法人オープンハウス こんぺいとう）等との協働のもと、2011年4月5月は仙台市、2011年6月からは浦戸諸島にてボランティア活動を展開。これまで100回以上、のべ1,200名以上が参加。

「山形大学浦戸諸島観光再生プロジェクト」は、2011年度11月スタート。2012年2月「浦戸桂島復興連絡協議会」を発足させ、塩竈市、東北大学、公益財団福祉法人さわやか福祉財団、国連大学等と会議を運営（これまで計22回開催）。

2011年10月30日からは仙台のNPO法人アスイクとの協働で、仙台市の被災家庭の子供の学習支援活動を、月曜日～金曜日の毎日仙台市にて、冬休み、春休み、夏休み等の長期休業中も含めて、現在まで継続して実施。のべ700名以上が参加し、のべ800名を超える子供たちの学習支援を実施。

(お問い合わせ)

【授業担当教員】

山形大学エンロールメント・マネジメント部

教授 福島真司

(TEL) 023-628-4061

(e-mail) shinji-fukushima@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

【学生代表】

山形大学工学部機械システム工学科

1年 中川大成

(TEL) 080-4516-3155

(e-mail) jankta.212@gmail.com

光り輝く海、青く澄んだ空、緑豊かな森。島の人にお勧めスポットを聞いて、丸ごと桂島を楽しもう。自分だけの桂島を。至福の時間を。



島の方々が丹精を尽くして育てた、他とは一味も二味も違う牡蠣。自分で剥いた牡蠣は更に美味しく感じ、記憶に残ること間違いなし！



ふらりと桂島ツアー

ゆるりと歩くと笑顔もほろり

一日目

19:30	18:00	17:00	16:20	14:30	14:10	13:30	12:00	10:30	10:10	9:40	9:10	7:25	7:20
ライトアート	夕食	おみやげづくり	夕日鑑賞	冒険ハイキング	ハイキング	のり工場見学 or 食育の授業	昼食	桂島案内・交流	桂島棧橋到着	桂島へフェリーで移動	マリングेट塩竈到着	山形大学	山形駅出発
★ライトで夜空に絵を描いて、写真におさめる夜の美観をアート		親子向け				親子向け							

二日目

16:30	14:54	14:31	11:00	9:00	7:10	6:00
山形到着	マリングेट塩竈	桂島棧橋出港	昼食	牡蠣収穫体験 and 牡蠣剥き	朝食	朝日鑑賞



日程
 第一回 2月1日(土) - 2月2日(日)
 第二回 3月1日(土) - 3月2日(日)

料金
 大人 12,800円
 小人 9,800円

【お申し込み先】 募集型企画旅行(有)山形E旅
 〒990-0811 山形県山形市長町4-5-43
 総合旅行業務取扱管理者: 金田史生
 【TEL】023-681-3139 【FAX】023-681-3159
 【Mail】mail@yamagata-etabi.com
 【営業時間】月曜～土曜 9:00～18:00
 【定休日】日曜・祝祭日
 登録番号: 山形県知事登録旅行業第2-237号
 加盟団体: 社団法人全国旅行業協会

【お問い合わせ先】 山形大学 浦戸諸島桂島
 観光再生プロジェクト
 http://tour.yamant.com
 【代表】中川 大成 (ナカガワ・タイセイ)
 【TEL】080-4516-3155
 【mail】jankta.212@gmail.com
 【副代表】佐藤 広青 (サトウ・コウセイ)
 【TEL】080-3147-9116
 【mail】kosei0224basuke@yahoo.co.jp



ご注意事項
 ● 民宿での宿泊となりますので、1名様での参加の場合、同性の方と相部屋になる場合があることをご了承ください。カップルや2～4名様のご家族やグループの場合、一部屋での利用を確保いたします。
 (お部屋のタイプは一部屋につき、シングルベッド2名分、ソファベッド1名分、ロフト1名分の4名のタイプです。和室もございます) ● 民宿には、アメニティー (歯ブラシ・タオル・ドライヤー等) や浴衣はございませんので、ご持参ください。 ● 防寒対策を各自しっかりと準備してください。 ● 募集人数: 各15名 ● 最少催行人数: 1名 ● 食事条件 (4食): 1日目昼・夜、2日目朝・昼 ● 添乗員・バスガイドの同行はいたしません。山形大学学生が様々なサポートをいたします。料金に含まれるもの: 上記に明記された食事代、乗船券代、有料道路代、貸し切りバス代、宿泊代 ● 料金にふくまれないもの: 個人的性質の諸費用、その他上記以外のもの、天候や道路交通事情等により、コースや時刻が変更となる場合がございます。ご了承ください。 ● 山形県外からの参加も可能ですので、ご希望の方はご連絡ください。お申込み: 特定の申込書に記入の上、旅行代金を添えて各出発日の1週間前(第1回1/25、第2回2/22)まで。まずは電話、FAX、電子メールにてお問い合わせください。こちらから必要書類を送らせていただきます。 ● 各コース、その他は、お送りさせていただく必要書類(「ご案内」旅行取引条件説明書面)等にてご確認ください。



かなりのコツが必要!? 船に乗って実際の牡蠣の収穫現場に直撃。他では絶対に体験できない牡蠣剥き体験を。そして、とれたての牡蠣を召し上げ!

桂島とは、宮城県塩釜市の松島湾に浮かぶ、人口およそ三百人の小さな島。この島の魅力は、濃厚でとろけそうな牡蠣に、美しく幻想的な海や森。そして濃厚で親しみやすい島の人。そんな豊かな自然に間近で触れ合いながら、あたたかい島の人たちと過ごす貴重な二日間。小さな島でのこの旅はあなたに何を教えてくれるのでしょうか。震災からおよそ三年経ったいま、桂島はまた新たなスタートを切っています。島の人をはじめ、たくさんの方が愛する桂島に一度、足を運んでみませんか。



平成25年12月24日
山形大学

1. 理系ライフをのぞいてみよう！サイエンスカフェ in 山形大学の開催

山形大学と資生堂との共催で、サイエンスカフェを開催します。資生堂の研究助成「資生堂女性研究者サイエンスグラント」の受賞者である山形大学農学部 恩田弥生助教、東京農工大学工学部 帯刀陽子講師（山形県米沢市出身）をはじめ、山形大学理学部 松井淳准教授、資生堂リサーチセンターの蓑田裕美氏が登壇します。「山形の市民と一緒に科学を楽しもう」「山形から世界にはばたく最先端の研究成果を地域に還元しよう」をコンセプトに、4名の研究者が理系進路を選んだきっかけや、それぞれの研究テーマを楽しくご紹介するトークイベントです。

中学生以上どなたでも参加できます。参加費は無料、先着順で定員20名です。

◆日時 平成26年1月25日(土) 14:00～16:00

◆場所 山形大学小白川キャンパス 理学部13番教室（1階）

【詳細は別添の資料をご覧ください。】

※ これまでの学長定例会見でお知らせをしたもので、開催がせまっているイベント

◎大学コンソーシアムやまがた「やまがた夜話」の開催

「大学コンソーシアムやまがた」では、「もう一つの人づくり」を実現するため、「山形県の人・モノ・地域作り」をテーマにそれぞれの得意分野で活躍している第一人者の目線で皆さまにわかりやすくお話しする講話「やまがた夜話」を開催しています。

1月は、「月山に学ぶ」をテーマに2回シリーズで開催します。

◆日時： ※ 両日ともに18:30～19:30

1月16日（木）「地域に学び、地域に伝える一月山マイスター養成講座ー」

八木 浩司 氏（山形大学地域教育文化学部教授）

奈佐 國男 氏（月山マイスター事務局・月山マイスター）

1月23日（木）「日本のジオパーク運動と月山ジオパーク構想」

中川 和之 氏（時事通信社解説委員・日本ジオパーク委員会委員）


◆場所：ゆうキャンパス・ステーション（山形市：山形むらきさわビル1階）

◆対象：高校生・学生・一般市民 定員50名（参加費は無料です。）

【詳細は別添の資料をご覧ください。】

／理系ライフをのぞいてみよう！／

サイエンスカフェ

in  山形大学

Part 1 農学 おいしい米粉パンが世界を救う！？ アミノ酸生合成で食糧問題に挑む！
山形大学農学部 助教 恩田弥生さん（第5回 資生堂女性研究者サイエンスグラント受賞者）

Part 2 理学 気軽に使える燃料電池！？ 世界初の材料でエネルギー問題を解決しよう！
山形大学理学部 准教授 松井淳さん

Part 3 工学 歯を再生させる電磁コイルとは？ ナノテクノロジーで再生医療の未来を創る！
東京農工大学工学部 講師 帯刀陽子さん（山形県出身・第6回 資生堂女性研究者サイエンスグラント受賞者）

Part 4 化粧品 化粧品作りは科学の総合芸術！ 企業の理系ライフをのぞいてみよう
資生堂リサーチセンター サイエンスコミュニケーター 蓑田裕美さん



2014年

1月25日 土

14:00~16:00

山形大学

小白川キャンパス 理学部13番教室



山形大学
YAMAGATA UNIVERSITY

SCIENCE
GRANT

SHISEIDO FEMALE RESEARCHER

【対象】中学生以上ならどなたでも 【定員】20名（先着順・メールによる事前申込制） 【参加費】無料

【主催】山形大学・資生堂女性研究者サイエンスグラント事務局

お申込み方法など詳細は「資生堂 女性研究者サイエンスグラント ホームページ」をご覧ください！

<http://group.shiseido.co.jp/rd/doctor/grants/science/topics.html>

資生堂サイエンスカフェ

検索

やまがた夜話

テーマ『月山に学ぶ』

1月16日(木) 『地域に学び、地域に伝える』

18:30~19:30 一月山マイスター養成講座

八木 浩司 氏

(山形大学地域教育文化学部教授)

奈佐 國男 氏

(月山マイスター事務局・月山マイスター)

1月23日(木) 『日本のジオパーク運動と月山ジオパーク構想』

18:30~19:30

中川 和之 氏

(時事通信社解説委員・

日本ジオパーク委員会委員)

会場 ゆうキャンパス・ステーション
(山形むらさきさわビル1階)

アクセス 山形駅東口より徒歩1分

対象 高校生・学生・一般市民
定員:50名

入場無料

お申し込み 電話又はチラシ裏面の参加
申込書に必要事項を記入の
上Fax, 郵送、メール等でお
申し込みください。



主催

大学コンソーシアムやまがた
山形市

後援

お申込み・お問合せ

〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらさきさわビル1階
Tel:023-628-4842 FAX:023-628-4820
E-mail:unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



大学コンソーシアムやまがた

